

日本野鳥の会筑豊支部 2026 年度定期総会議案書

2026 年 2 月 15 日（日）13 時
飯塚市穂波交流センター 2F 第 1 研修室

目次

1. 執行部.....	2	42. 識別検討委員会\有働孝士.....	20
11. 支部長\梶原剛二.....	2	43. ご意見相談室\梶原剛二.....	20
12. 副支部長\真鍋直嗣.....	2	44. チェックリスト作成委員会\有働孝士...21	
13. 副支部長\三浦博嗣.....	2	45. 運営委員会打ち合わせ\広塚忠夫..21	
14. 事務局長\広塚忠夫.....	2	5. 受託事業.....	22
141. 役員立候補の受付.....	2	51. 河川環境保全モニター（国土交通省）	
142. 議案審議内容.....	3	\梶原剛二.....	22
143. 2025 年度活動報告と 2026 年度		52. 福岡県環境審議会（福岡県）\梶原	
方針.....	3	剛二.....	22
144. 2025 年の屋外行事・運営委員会・		53. 福岡県鳥獣保護管理委員（福岡県）	
其他活動の状況.....	3	\木村直喜.....	23
145. 日本野鳥の会筑豊支部規約		54. 鳥類生息分布調査（福岡県）\真鍋	
（案）.....	5	直嗣.....	23
146. 日本野鳥の会筑豊支部 役員・担		55. 福岡県環境保全指導員（福岡県）\	
当体制（案）.....	8	広塚忠夫.....	23
15. 事務局次長\野村芳宏.....	8	56. 緑の少年団探鳥会指導員（飯塚市）	
16. 事務局次長\中村嘉一.....	8	\木村直喜.....	24
17. 会計（代行）\広塚忠夫・野村芳宏. 9		57. モニタリングサイト 1000（財団本部）	
171. 2025 年度決算報告.....	9	\広塚忠夫.....	25
172. 2026 年度予算案.....	9	6. 団体加盟.....	25
173. 会計監査実施および決算・予算案		61. 公益財団法人日本野鳥の会\広塚忠夫	
に関する報告.....	10	25
2. 専門部.....	10	62. 全国野鳥密猟対策連絡会\広塚忠夫 26	
21. 普及部\園田正斉.....	10	63. 日本野鳥の会九州・沖縄ブロック運営協	
2026 年度探鳥会予定案.....	12	議会\三浦博嗣.....	26
22. 編集部\有働孝士.....	13	64. 遠賀川流域住民の会\梶原剛二....27	
23. 販売部\三浦博嗣.....	14	65. 中島自然再生協議会\梶原剛二....27	
24. 調査研究部\林田達也.....	14	7. 支援事業.....	27
25. 保護部\木村直喜.....	15	71. 野鳥観察（遠賀川水辺館）\梶原剛二	
26. 写真部\（休部中）.....	16	28
27. 植物部\三浦博嗣.....	16	72. めだかの学校すずめ教室（遠賀川水辺	
2026 年度自然観察会.....	16	館）\梶原剛二.....	28
28. 情報部\有働孝士.....	17	73. 筑豊博物研究会\木村直喜.....	28
29. 俳句部\真鍋直嗣.....	18	74. いいづか環境会議（休止中）\後藤よ	
3. 助言者.....	18	うこ.....	29
31. 顧問\森永光直.....	18	【参考】.....	29
32. 名誉支部長\松尾節朗.....	19	2026 年度定期総会会場ご案内.....	29
4. 委員会.....	19	本会活動履歴.....	30
41. 野鳥展実行委員会\野村芳宏.....	19		



1. 執行部

執行部は、規約第9条のうち、①～⑥項の担当とした。本会の総務的な事業や専門部が扱わない活動を補完し実施する。



11. 支部長\梶原剛二

日本野鳥の会筑豊支部総会ご挨拶

総会のご参加ありがとうございます。

地域に根差した自然、野鳥保護を進めていきたいと考えています。

役員の方々や、探鳥会・自然観察会等の担当者の皆様いつもご尽力いただきありがとうございます。

筑豊支部の最高決議総会の場です。未来のために今年度のご提案やご意見を出していただき、議論よろしくお願ひ致します。



12. 副支部長\真鍋直嗣

副支部長としての2025年

皆様、副支部長の真鍋直嗣です。で、ありますが、執行部内の活動は何もしてなくて、全て三浦副支部長にお任せしていました。この度、事務局や編集部の方から総会への報告をと連絡があり、恥ずかしくてほっぺりをして逃げ出したい気持ちでしたが、逃げださず、まずはお詫びを申し上げます。今年、少しは三浦副支部長の仕事を軽減できるよう努力いたします。

総会が目前ですので無理かもしれませんが（早く申し出ればよかったのですが）、副支部長は二名とせず一名としては如何でしょうか。私は退きますが、現在担っている県委託調査や俳句部の活動に全力を尽くします。特に県委託調査との関係で調査研究部の活動へのサポートは行なっています。



13. 副支部長\三浦博嗣

私達を取り巻く自然環境は、年を経ることに厳しくなり、野鳥が生息する森や海、川や湿地、それと共に生きる植物に昆虫、動物にも大きな影響が出てきています。これらをさらに悪化させないように今後も皆さんと支部活動を通じ環境保護に努めたいと思います。



14. 事務局長\広塚忠夫

本年の定期総会は、昨年が続いて対面総会で行いますので、多くの会員の参加を期待しています。

14.1. 役員立候補の受付

なお、本会事務局では、2026年度定期総会に先立ち、役員立候補を受け付けます。立候補を希望する本支部会員（くまたか会員を除く）は、支部長、副支部長、専門部名およびその役職名（部長・副部长、次長、会計監査等）を指定のうえ、届け出てください。

役員選挙は、定期総会の議事として行われます。

役員の種類：支部長1名、副支部長2名、事務局長1名、同次長2名、各専門部部長1名（全8名。写真部は休部中ですが部長立候補は可）、同副部长若干名、会計1名、会計監査2名

立候補資格：日本野鳥の会筑豊支部会員（くまたか会員を除く）

届け先：広塚忠夫事務局長（行き違いを避けるため電話など口頭は不可とします）

メール：jimukyoku@yacho.org

FAX：0947-42-4612

郵便：〒826-0043 田川市奈良 207-3

立候補受付期間：2026年2月7日（土）～2月14日（土）（ただし、立候補申請は2026年2月14日、届け先必着とします）

142. 議案審議内容

- ① 2025年度活動報告：事務局・普及部・編集部・販売部・調査研究部・保護部・植物部・情報部・俳句部・野鳥展実行委員会・その他
- ② 2025年度会計報告及び販売部報告
- ③ 監査報告
- ④ 2026年度活動計画
- ⑤ 2026年度活動予算
- ⑥ 役員選出

143. 2025年度活動報告と2026年度方針

例年のことですが、最初に筑豊支部総会の方式について述べます。当該年度の総括期間は2025年1月～12月とし、活動方針の提案は2026年4月～2027年3月の期間としています。この方式は、毎年定期総会の開催が2月前後に予定されており、社会一般の方式に倣うと1月～3月の活動総括と予算決算の追加・修正が発生し、再作成と承認会議の招集が伴うことを簡略化した方式とご理解願います。

2025年の一番の大きな出来事は、支部事務所の移転でした。足掛け30年もの長きに渡り飯塚市柏の森の支部事務所を利用してきましたが、2025年3月31日、ビル所有者の有限会社ニューホープから急にビル解体・売却の方針が通告され、新事務所探しを急ぎ結果、旧木村塾（飯塚市立岩）に好条件で移転出来て木村直喜氏に感謝いたし、また、支部物品の選別・移転・設置等の作業に多くの役員の協力で完了できました。

2025年度の支部活動を、全役員の貢献心と多くの時間提供により実施することが出来感謝致します。現役員の活動体制は平均年齢70歳を超え高齢化に拘らず、長い経験則を活かし、筑豊支部として組織的な機能を発揮できたと評価しています。

それを具体的に裏打ちする活動と実績は、各専門部長の2025年度活動報告と2026年度方針を熟読しご理解願います。

会員の高齢化が進む筑豊支部の将来展望については、全国的な共通課題になっていることもあり、支部運営委員会でも重要な議題に挙げていますが特効薬は見つかっていません。ただ、女性会員の活動復活に期待しています。

144. 2025年の屋外行事・運営委員会・其の他活動の状況

主な屋外支部行事の探鳥会と自然観察は、別添の普及部と植物部の報告を参照願います。

その他の支部行事は、CFB11：第11回筑豊フリーバードソン（5/11～5/18）、CFB12：第12回筑豊フリーバードソン（12/6～12/14）を行いました。参加者がそれぞれのやり方でフリーバードソンを楽しめる行事として、2026年の5月・12月の二回予定していますので、今年以上の参加を期待しています。

1. 会員動静の検証と総括

(1) 2023年の筑豊支部の会員動静

① 正会員

2025年入会者5名・退会者7名:2名減

2024年入会者9名・退会者15名:6名減

2023年入会者16名・退会者15名:1名増

2022年入会者6名・退会者14名:8名の減

2021年入会者7名・退会者16名:9名の減

2020年入会者8名・退会者18名:10名減
(注)財団本部から入退会連絡表を参照
(内訳)
2025年12月1日現在:203名(家族会員含む)
2024年12月2日現在:211名(家族会員含む)
2023年12月1日現在:215名(家族会員含む)
2022年12月1日現在:214名(家族会員含む)
2021年12月1日現在:222名(家族会員含む)
2020年12月1日現在:231名(家族会員含む)
2019年12月2日現在:241名(家族会員含む)

2018年12月3日現在:241名(家族会員含む)
(注)会員数は支部ネット通信を参照
②くまたか会員(お試し会員)について、
2025年の入会者総数:5名
2024年の入会者総数:13名
2023年の入会者総数:9名
2022年の入会者総数:7名
くまたか会員累計数:110名(2015年からの
累計)
正会員へ移行者累計:28名

2025年の会員動静は入会者5名・退会者7名の2名減となっています。この間、探鳥会・自然観察会・野鳥展・ハチクマ渡り観察会を通しての新入会員の勧誘活動と共に、毎日当会サイト「くまたか」を更新されている有働孝士部長の活動、遠賀川水辺館を拠点に梶原剛二支部長の毎週の活動が入会機会を提供し会員増の施策として評価されます。

一方、会員の高齢化に伴い高齢会員の退会者が続き厳しい会員状況は続く想定されますが、くまたか会員(お試し会員)制度も活用して入会勧誘を行います。

2.運営委員会・役員会

(1)運営委員会の総括と方針

2025年は、運営委員会に先立つ同週の火曜日のWeb会議による「運営委員会打ち合わせ」で議題や提案資料を整理し、第4木曜日、会報発行に続き定例運営委員会を行いました。

毎月の運営委員会では行事の振り返りを行い、具体的な意見要望が提案された項目を検証して対策や企画案を了解のうえ実施しました。新年度も毎月の定例運営委員会を実施します。

3.新役員体制について

新役員体制は、立候補が無い場合を想定し、事務局及び運営委員会で調整した案を提起致します。

(1)新体制は、前年の全役員は原則継続をお願い致しました。なお、役員立候補大歓迎の方針で立候補の働きかけは日常的に行っていますが、今年度立候補受け付け期間は2月7日から2月14日の定期総会前日までとしています。

(2)新役員の具体案

- ① 新・調査研究部部長：真鍋直嗣
- ② 新・植物部副部長：木下伸子
- ③ 新・会計：野村芳宏

(3)派遣役員・講師等について

- ① 福岡県鳥獣保護管理委員：筒井哲史、木村直喜
- ② 福岡県環境保全指導員：下田信廣、広塚忠夫
- ③ 河川環境保全モニター：梶原剛二
- ④ 野鳥観察：梶原剛二（講師）
- ⑤ めだかの学校すすめ教室：梶原剛二（講師）
- ⑥ いいづか環境会議（活動休止中）：後藤ようこ
- ⑦ 緑の少年団探鳥会指導員：野村芳宏、柴田光、木村直喜、佐藤久恵
- ⑧ 福岡県鳥類生息分布調査及び県内4支部統括：真鍋直嗣

4.各専門部の総括と新年度方針について

各専門部の総括と方針については、各専門部部長からの本年度の提案内容を一読頂き、会員の皆様からのご意見要望を受けて最終決定と致します。

5.その他の施策について

野鳥展実行委員会・識別検討委員会・ご意見相談室及び派遣役員からの活動報告についても、各担当からの報告を通読頂き、ご意見質問を受けて決定致します。

6.規約および役員体制の改正について

本年度の規約改正部分にはアンダーラインを記し提案する。

1. 第2条 支部事務所の所在地変更
2. 第25条⑫ 規約の改正日追記
3. 付則第2条④、⑤ 2委員会等の新規追加

役員体制（および担当）でも規約改正部分アンダーラインにより、提案する。（8ページ参照）

1. 第9条⑤ 会計・1名（退任に伴う交代）
2. 第9条⑥ 会計監査・2名（退任に伴う交代）
3. 第12条④ 調査研究部・部長（退任に伴う交代）
4. 第12条⑦ 植物部・副部長（新任）

145. 日本野鳥の会筑豊支部規約（案）

第1章 総則

第1条（名称） この会は日本野鳥の会筑豊支部（以下、本会）と称する。

第2条（事務所） 本会は、事務所を福岡県飯塚市立岩 1079-26 に置く。

第3条（目的） 本会は、自然にあるがままの野鳥および植物に接して楽しむ機会を設け、また野鳥および植物に関する科学的な知識およびその適正な保護思想を普及すると共に自然環境を保全し、地域の人々の間に自然尊重の精神を培い、もって人間性豊かな社会の発展に資することを目的とする。

第4条（事業） 本会はその目的のために次の事業を行う。

- ① 野鳥および植物を中心とした自然保護活動
- ② 探鳥会、植物観察会の開催など普及教育活動
- ③ 野鳥および植物等の調査研究活動
- ④ 会報の発行および公式サイト「くまたか」の管理・運営
- ⑤ 会員相互の親睦に関する諸活動
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

第5条（構成員）

- ① 本会の会員は、第3条の目的に賛同する公益財団法人日本野鳥の会会員及びくまたか会員（お試し会員）によって構成する。

ただし、くまたか会員においては、同居の家族に限り、随時申し込みにより会費無料でくまたか会員となることができる。

くまたか会員の会員期間は、最初の申し込みの日から月末まで及び翌月から1年間とする。

くまたか会員は、資格失効後、くまたか会員として再入会することはできない。

くまたか会員は、役員立候補ができない。

- ② 入会名は、個人名・団体名・会社名のいずれも認め、会費は同額とする。

第6条（権利と義務） すべての会員は、同等の権利および義務を有する。

第7条（会費） 会費は別途これを定める。

- ① 会員は会費1年分を前納しなければならない。
- ② 会員資格を失った時、既に納めた会費は返戻しない。

第8条（除籍） 会員が以下各号に該当する時は、役員会の議決を経て退会または除名とする事ができる。

- ① 会費の滞納が3ヶ月以上に及んだ時
- ② 本会の名誉を著しく傷つけ、又は本会の目的に反する行為のある時

第3章 役員

第9条（役員） 本会には次の役員を置く。

- ① 支部長1名
- ② 副支部長2名
- ③ 事務局長1名
- ④ 事務局次長2名
- ⑤ 会計1名
- ⑥ 監査2名
- ⑦ 各専門部部長各1名及び副部長数名

第10条（役員の選任） 役員は総会において、本会会員の中から選任する。

第11条（職務）

- ① 支部長は本会を代表し、諸事業を統括する。
- ② 副支部長は支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ③ 事務局長は事務・事業を掌握し本会の運営実務を行う。
- ④ 事務局次長は事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ⑤ 会計は本会の会計実務を行う。
- ⑥ 監査は年1回、会計の監査を行う。

第12条（専門部） 本会は次の専門部を設け、各部長が業務分担し、事務局長がこれを掌握する。

- ① 普及部：定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
- ② 編集部：会報の編集と発行を行う。
- ③ 販売部：野鳥の会の物品販売を行う。
- ④ 調査研究部：各種調査活動を実施する。
- ⑤ 保護部：他の自然保護団体と連携し保護活動を進める。
- ⑥ 写真部：野鳥の写真記録を主活動とし、写真展や写真記録の蓄積を行う。
- ⑦ 植物部：自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
- ⑧ 情報部：各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。
- ⑨ 俳句部：俳句で野鳥を詠む活動を行う。

第13条（役員の任期） 役員の任期は総会から翌年の総会までとし、再任を妨げない。

第14条（評議委員） 九州・沖縄ブロックの評議委員について、本会から選出の必要が生じたときに役員の中から1名選任推薦する。

第15条（顧問）

- ① 本会には必要に応じて顧問を置く事ができる。
- ② 顧問は本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第16条（名誉支部長）

- ① 長期期間に亘り本会に貢献された支部長を、名誉支部長として置く事ができる。
- ② 名誉支部長は、本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第4章 会議

第17条（総会）

- ① 総会は支部長が招集し、会員をもって構成し、毎年1回開くものとする。
- ② 集まって総会開催が困難な場合は、書面総会とする。
- ③ 臨時総会は、役員会が必要と認めた時、または5分の1以上の会員から会議の目的を示して請求があった時、開かなければならない。

第18条（総会の決議） 総会の議事は出席者の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

第19条（総会の議決事項） 総会では次の事項を議決し、議事録を作成する。

- ① 規約の改正
- ② 役員および顧問の選任および解任
- ③ 事業計画、事業報告、予算、決算の審議および承認
- ④ その他本会の運営上特に必要な事項

第20条（役員会の開催） 役員会は支部長または役員のおよそ3分の1以上が必要と認められた時開催され、役員のおよそ半数の出席をもって成立する。

第21条（役員会の議決） 役員会は、会務遂行に関する事項を議決して処理し、議事録を作成する。

第22条（運営委員会） 本会の実務運営を円滑に行うために、事務局長は運営委員会を開催する。

第5章 資産および会計

第23条（資産および運用） 本会の資産は次の通りとし、支部長が統括、会計が管理し、経費その他に運用する。

- ① 会費および寄付金
- ② 事業から生ずる収入およびその他の収入

第24条（会計年度） 会計年度は1月1日から同年12月31日までとする。

第25条（施行および改正）

- ①規約は1986年12月15日から施行する。
- ②1995年4月16日一部改正
- ③2005年4月17日一部改正
- ④2010年2月28日改正
- ⑤2011年2月27日一部改正
- ⑥2015年2月8日一部改正
- ⑦2016年2月21日一部改正
- ⑧2017年2月19日一部改正
- ⑨2020年2月16日一部改正
- ⑩2021年2月14日一部改正
- ⑪2023年3月5日一部改正
- ⑫2026年2月15日一部改正

附則

第1条 規約7条に定める会費は次の通りとする。

- ① おおぞら会員（総合会員）：年会費7,500円
- ② 赤い鳥会員（支部型会員）：年会費3,500円
- ③ 家族会員：年会費500円
- ④ 個人特別会員：年会費12,500円
- ⑤ くまたか会員（お試し会員）：年会費1,000円

第2条 規約4条の事業を行うため下記の実行委員会及び委員会、相談室等を設置する。

- ① 野鳥展実行委員会
- ② 識別検討委員会
- ③ ご意見相談室
- ④ チェックリスト作成委員会
- ⑤ 運営委員会打ち合わせ

146. 日本野鳥の会筑豊支部 役員・担当体制（案）

現体制の重複担当について軽減の必要を認識し、事務局として意識的に対応していますが、重複担当の解決には至っていません。新年度は女性会員の役員就任をお願いして支部活動の活性化を図りたいと考えています。

なお、立候補が無い場合に備え、事務局で打診した候補として、会計・野村芳宏、会計監査・向野五郎、佐藤久恵、調査研究部部长・真鍋直嗣、植物部副部长・木下伸子各氏に了解をいただきました。

支部長：梶原剛二

副支部長：真鍋直嗣、三浦博嗣

事務局長：広塚忠夫

事務局次長：野村芳宏、中村嘉一

会計：野村芳宏（退任：河野藤孝）

会計監査：向野五郎、佐藤久恵（退任：後藤ようこ、金本訴次）

普及部：園田正斉、国武光成、松尾浩二、山下哲郎、中村嘉一

編集部：有働孝士

販売部：三浦博嗣

調査研究部：真鍋直嗣、吉本浩基、木村直喜、田中憲二、小河洋紳、（退任：林田達也、筒井哲史、有本英一郎）

保護部：木村直喜、柴田光

写真部：（休部中）

植物部：三浦博嗣、三浦美代子、木下伸子

情報部：有働孝士、木村直喜、筒井哲史

俳句部：真鍋直嗣

付則第2条による委員会等

野鳥展実行委員会：野村芳宏

識別検討委員会：梶原剛二

ご意見相談室：梶原剛二

チェックリスト作成委員会：有働孝士

運営委員会打ち合わせ：広塚忠夫

顧問：森永光直

名誉支部長：松尾節朗

15. 事務局次長\野村芳宏

2025年度総会議案 事務局次長の感想 野村芳宏 2026.01.10（土）

事務局次長は、事務局長を補佐し会の運営を円滑にすることだと思っている。細かなことと言うと運営委員会の書記や、野鳥だよりの丁合を行っている。本年度最も印象に残った取り組みは、宮若西小学校5年生のバードウォッチングであった。児童87名をどのようにしたら安全でしかも野鳥観察ができるかという課題であった。私の役割は、そのための企画提案である。これについては、すでに野鳥だよりに報告しているので、詳しくは述べないことにする。この取り組みで私が一番感じたことは、事務局の方々から快く協力してくれたということであった。これほど心強いものはなかった。事務局次長の役割は、皆さんに快く協力して頂ける提案ができるかと思っている。2027年度も、この点に心を配りながら、事務局長の補佐をし、会の運営を円滑にできるようにしていきたい。

16. 事務局次長\中村嘉一

2026年の初頭における抱負

日本野鳥の会筑豊支部・事務局次長 中村嘉一

あけましておめでとうございます。私の年頭における抱負は次の3点です。

その1は、担当する2ヶ月に1回の印刷を、ミスなく仕上げること。

その2は、事務局次長の役目である、事務局長の補佐役をしっかりと務めること。

その3は、現在野鳥観察種が、193種。これをもう7種増やすこと。

これらの項目を達成するため、健康管理に留意し、できるだけ多くの探鳥の機会を持ちたいと考えています。会員の皆さん、今年もよろしく願いいたします。



17. 会計（代行） \ 広塚忠夫・野村芳宏

2025 年度決算報告及び 2026 年度予算案

171. ★2025 年度一般会計収支決算報告

会計代行：広塚忠夫

収入の部（2025 年 1 月～12 月まで）

項目	金額（円）
会費収入	411,524
探鳥会参加費収入	18,900
観察会参加費収入	9,600
委託調査収入	261,983
販売部収入	51,245
くまたか会員入会金	7,000
寄付金収入	0
現金（郵便通帳へ入金分）	41,926
引継ぎ収入未済額	△320,771
雑収入（郵便局利息他）	40,215
当期収入合計（A）	521,622
前期繰越額	747,928
収入合計（B）	1,269,550

支出の部

項目	金額（円）
事務所経費（家賃）	199,740
通信費	0
事務局経費	118,680
消耗品	72,358
備品費	2,318
活動費	129,069
行事費	0
野鳥だより・筑豊発行費	153,287
情報部	19,585
当期支出合計（C）	695,037
当期収支合計（A）－（C）	△173,415
次期繰越額（B）－（C）	574,513

★2025 年度特別会計増減報告

項目	金額（円）
前期繰越	1,250,000
当期繰入	0
当期引出	0

172. ★2026 年度一般会計収支予算案

会計代行：野村芳宏

収入の部（2026 年 1 月～12 月まで）

項目	金額（円）
会費収入	410,000
探鳥会参加費収入	15,000
観察会参加費収入	13,000
委託調査収入	250,000
販売部収入	50,000
くまたか会員入会金	5,000
寄付金収入	0
現金	0
雑収入	10,000
当期収入合計（A）	753,000
前期繰越額	574,513
収入合計（B）	1,327,513

支出の部

項目	金額（円）
家賃	180,000
通信費	5,000
事務局経費	30,000
消耗品	80,000
備品費	10,000
活動費	150,000
行事費	5,000
野鳥だより・筑豊発行費	170,000
専門部	30,000
交通費	50,000
予備費	43,000
当期支出合計（C）	753,000
当期収支合計（A）－（C）	0
次期繰越額（B）－（C）	574,513

★2026 年度特別会計増減予算案

項目	金額（円）
前期繰越	1,250,000
当期繰入	0
当期引出	0

当期合計	1,250,000
------	-----------

当期合計	1,250,000
------	-----------

2025 年度決算報告及び特別会計決算報告は、引継ぎ未済金を除き、適正に処理されていることを認めます。

2026 年 1 月 27 日
 会計監査：後藤ようこ（印略）

173. 会計監査実施および決算・予算案に関する報告

会計代行：広塚忠夫

2026 年 2 月 27 日（火）13 時 00 分より、2025 年度決算報告および 2026 年度予算案についての会計監査を実施いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

1. 2025 年度の主な支出について

2025 年度における大きな支出として、旧支部事務所（柏の森）から新支部事務所（立岩）への移転費用として 98,330 円が発生しております。

2. 会計担当者への謝意

河野藤孝会計におかれましては、2008 年の会計就任以降、2025 年まで長期間にわたり、厳正かつ正確な会計処理を行っていただきました。ここに深く感謝申し上げます。

3. 決算・予算案作成の経緯

河野藤孝会計は、昨年より現在まで入院が続いている状況にあります。そのため、事務局（広塚忠夫・野村芳宏・中村嘉一）が、昨年お預かりした「収入・支払い証拠書および預金通帳」を基に、2025 年度決算および 2026 年度予算案を作成いたしました。

4. 引継ぎ未済金について

お預かりした決算資料等につきましては、必ずしも完璧な状態ではない可能性があり、引継ぎによる未済額が発生しております。

5. 今後の対応

当該引継ぎ未済額につきましては、河野藤孝会計の退院後に調査を行い、判明次第、逐次、毎月の運営委員会にて提示し、承認を得ることといたします。

6. 担当について

2025 年度決算報告は暫定的に広塚忠夫事務局長が担当し、2026 年度予算案については野村芳宏事務局次長が担当することといたしました。

野村芳宏は次期繰越金 574,513 円（預金・現金）を引継ぎ、2026 年の会計任務を行って居られます。

7. 新会計担当者の扱いについて

野村芳宏は、2 月の次年度総会までの間は「会計代行」の肩書にて業務を行い、総会において会計に立候補の予定です。



2. 専門部

専門部は、規約第 12 条（専門部）の①から⑨を言う。特定の専門的な業務を担う。



21. 普及部 \ 園田正斉

2026 年度本会定期総会用資料(普及部)

普及部部长 園田正斉

2025 年度の総括

2025 年度の探鳥会開催数は 23 回と成りました。中止行事は 5 回あり、天候不良 4 回、工事関係 1

回でした。

探鳥会参加会員 227 名、一般参加者は 23 名で合計 250 名でした。一般参加者は、平均 1 名程度ですが、他団体との協賛があると剣岳ハチクマ探鳥会の様に一気に 9 名の参加実績がみられました。

新型コロナウイルス感染症による影響は昨年に続きほとんどありませんでした。一方インフルエンザにより感染警報が 11 月中旬より出され探鳥会開始時に体調不良がないか呼びかけをしました。

ハチクマの調査では、昨年同様 3 ヶ所実施していますが、今年は明神ヶ辻山公園から遠賀川水辺館屋上に変更しました。遠賀川水辺館のみ 2 日目雨天に影響を受けず実施できました。また担当者を複数配置し参加者へ説明対応等に配慮することができました。

女性の探鳥会担当者が、無かったので複数担当の場をこの機会としたいです。

2026 年度は下記項目を柱に掲げ、活動を策定

1. 新型コロナウイルスやインフルエンザ感染状況を把握しながら円滑な探鳥会が実施できるようにする。
2. 参加型の探鳥会（※）を一部試行的に取り入れ、一般参加者や初心者が自ら発見した喜びや観察種数を実感できる探鳥会にしたいです。これをきっかけにフリーバードソンへの興味関心を持つことができるようにしたいです。

※バードソンの機能を取り入れた探鳥会の試み

3. 昨年同様海鳥探鳥が少ない為、志賀島及び東与賀は継続実施します。
4. 東大橋探鳥会は筑豊支部主催となります。

2025 年度（2025/1/1～2025/12/31）例会実施表

2025	日	曜	開始	番号	+探鳥会([]除く)	集合場所	担当者	参加者		種数
								会員	一般	
1 月	1	水	09:00	1116	中島元日	中島・河川敷駐車場	有働孝士	12	5	36
	11	土	09:00	1117	志賀島	志賀海神社駐車場	森永光直	7	1	39
	26	日	09:00	1118	東大橋（北九州合同）	行橋浄化センター南東路肩	田代省二	15	2	38
2 月	2	日	09:00	1119	犬鳴ダム	泉の広場	森永光直	12		21
	9	日	09:00	1120	久保白ダム	王塚装飾古墳館駐車場	梶原剛二 松尾浩二	14		54
			13:00	-	(総会)	中屋公民館	梶原剛二			-
3 月	2	日	09:00	1121	千石峡	花の水辺公園駐車場	森永光直	中止		
	9	日	09:40	1122	藍島（北九州合同）	藍島港集合（小倉港 08:20 発）	林孝	11		25
	23	日	09:00	1123	深倉林道	彦山駅横休憩所	木村直喜	10		24
4 月	6	日	09:00	1124	久末ダム	みずがめの郷第二駐車場	三浦博嗣	11		33
	12	土	09:00	1125	部埼灯台	部埼灯台前駐車場	梶原剛二	9		19
	26	土	09:30	1126	油山市民の森	ABURAYAMA FUKUOKA P5 駐車場	園田正斉	10	1	18
5 月	11	日	09:00	1127	笠城ダム公園	飯塚霊園前	森永光直	9	3	17
	18	日	17:00	1128	[ヨルヒコ]	豊前坊駐車場	梶原剛二 園田正斉	14	1	26
	19	月	04:00	1129	[アサヒコ]	豊前坊駐車場	広塚忠夫	10		18
6 月	8	日	09:00	1130	深倉林道>彦山駅周辺	彦山駅横休憩所	野村芳宏	変更後中止		
7 月	6	日	09:00	1131	寒田	大楠神社駐車場	林田達也	7		18
8 月	24	日	09:00	1132	英彦山清掃	彦山駅横休憩所	木村直喜	8		5+5
9 月	9	火	08:00	1133	東与賀	干潟よか公園駐車場	山下哲郎	5		19
	21	日	09:00	1134A	[ハチクマ探鳥会・剣岳]	剣岳・東屋	森永光直 園田正斉	10	9	10
			09:00	1134B	[ハチクマ探鳥会・六ヶ岳]	六ヶ岳・山頂	三浦博嗣	8		9

		09:00	1134C	[ハチクマ探鳥会・遠賀川水辺館]	遠賀川水辺館・屋上	梶原剛二	1	1	15
	23 火	09:00	1135A	[ハチクマ探鳥会・剣岳]	剣岳・東屋	園田正斉 森永光直	中止		
		09:00	1135B	[ハチクマ探鳥会・六ヶ岳]	六ヶ岳・山頂	中村嘉一 広塚忠夫	中止		
		09:00	1135C	[ハチクマ探鳥会・遠賀川水辺館]	遠賀川水辺館・屋上	梶原剛二	1		18
10月	12 日	09:00	1136	ヒヨドリの渡り	蔵元橋西	国武光成	12		16
11月	23 日	09:00	1137	中島	垣生公園駐車場	梶原剛二	14	0	23
	7 日	09:00	1138	豊前海岸	浜の宮駐車場	林田達也	中止		
12月	14 日	09:00	1139	大ヶ原	ラピュタファーム駐車場	園田正斉 中村嘉一	17	0	28
合計(会員+一般)							227	23	
総合計							250		

2026年度探鳥会予定案（2026年4月～2027年3月）

月	日	曜	開始	例会番号	+探鳥会([]除く)	集合場所	担当	開催地	弁当
2026年									
4	5	日	09:00	1148	久末ダム	みずがめの郷第二駐車場	三浦博嗣	福津市	×
	11	土	09:00	1149	部埼灯台	部埼灯台前駐車場	梶原剛二	北九州市門司区	×
	26	日	09:30	1150	油山市民の森	ABURAYAMA FUKUOKA P5 駐車場	園田正斉	福岡市城南区	×
5	10	日	09:00	1151	笠城ダム公園	飯塚霊園前	野村芳宏	飯塚市	×
	23	土	17:30	1152	[ヨルヒコ]	豊前坊駐車場	園田正斉 中村嘉一	添田町	×
	24	日	04:00	1153	[アサヒコ]	豊前坊駐車場	広塚忠夫	添田町	×
6	7	日	09:00	1154	深倉林道	彦山駅横休憩所	野村芳宏	添田町	○
	28	日	08:00	1155	寒田	大楠神社駐車場	林田達也	築上町	×
8	23	日	09:00	1156	英彦山清掃	彦山駅横休憩所	木村直喜	添田町	×
9	20	日	09:00	1157A	[ハチクマ探鳥会・剣岳]	剣岳・東屋	国武光成 園田正斉	鞍手町	×
			09:00	1157B	[ハチクマ探鳥会・六ヶ岳]	六ヶ岳・山頂	広塚忠夫 中村嘉一	鞍手町	○
			09:00	1157C	[ハチクマ探鳥会・遠賀川水辺館]	遠賀川水辺館・屋上	梶原剛二	直方市	×
	22	火	09:00	1158A	[ハチクマ探鳥会・剣岳]	剣岳・東屋	国武光成 園田正斉	鞍手町	×
			09:00	1158B	[ハチクマ探鳥会・六ヶ岳]	六ヶ岳・山頂	中村嘉一 広塚忠夫	鞍手町	○
			09:00	1158C	[ハチクマ探鳥会・遠賀川水辺館]	遠賀川水辺館・屋上	梶原剛二	直方市	×
27	日	08:00	1159	東与賀	干潟よか公園駐車場	園田正斉	佐賀県佐賀市、 満潮 09:27 5.8m	×	
10	11	日	09:00	1160	ヒヨドリの渡り	蔵元橋西河川敷	国武光成	福智町	×
11	15	日	09:00	1161	長尾	王塚装飾古墳館駐車場	中村嘉一	桂川町	×
	29	日	09:00	1162	中島	中島河川敷駐車場	梶原剛二	中間市	×
12	6	日	09:00	1163	豊前海岸	浜の宮駐車場	林田達也	築上町	×
	13	日	09:00	1164	大ヶ原	ラピュタファーム駐車場	園田正斉 中村嘉一	川崎町	×
			12:00	-	(2026年忘年会)	ラピュタファーム	広塚忠夫	川崎町	×
2027年									
1	1	金	09:00	1165	中島元日	中島河川敷駐車場	有働孝士	中間市	×
	10	日	09:00	1166	志賀島	志賀海神社駐車場	園田正斉	福岡市東区	×
	24	日	09:00	1167	東大橋	行橋浄化センター南東 堤防前	田代省二	行橋市	×
2	7	日	09:00	1168	犬鳴ダム	泉の広場駐車場	森永光直	宮若市	×

14	日	09:00	1169	久保白ダム	王塚装飾古墳館駐車場	梶原剛二 松尾浩二	桂川町	×
		13:00		(総会)	(会場検討中)	梶原剛二	-	○
28	日	09:00	1170	千石峡	花の水辺公園駐車場	中村嘉一	宮若市	×
3	日	09:40	1171	藍島	藍島港旅客船ターミナル (小倉港 08:20 発)	林孝	北九州市小倉北区	○
		09:00	1172	経読林道	彦山駅横休憩所	木村直喜	添田町	○



22. 編集部\有働孝士

2025 年度総括

本会会報「野鳥だより・筑豊」(以下会報)は、12ヵ月12号分を月刊平均41ページで定期発行しました。総括年度は2025年1月～12月です。昨年度2024年の総ページ数は661ページ、記事数は720記事でしたが2025年度は総ページ496ページ、記事数604記事とともに減少しました。

2025年度の会報は、ご投稿のほか印刷、丁合い、製本、発送など発行作業に関わるみなさまの多大なご協力により月刊で発行されました(残念ながら11月号の2ページ分が天地逆印刷)。公式ウェブサイト「くまたか」とともに、本会の活動内容や投稿など多くの情報を公表・共有できました。ありがとうございました。

「野鳥だより・筑豊」2025年発行事績

月号	通巻	頁数	記事数	発行日					
					7	570	56	47	2025-06-23
					8	571	28	40	2025-07-21
1	564	40	57	2024-12-23	9	572	44	55	2025-08-25
2	565	60	62	2025-01-20	10	573	36	46	2025-09-22
3	566	40	52	2025-02-24	11	574	36	54	2025-10-20
4	567	36	43	2025-03-24	12	575	40	48	2025-11-24
5	568	36	47	2025-04-21	合計		496	604	
6	569	44	53	2025-05-19	平均		41	50	

2026 年度活動方針

2026年度の編集部方針は下記のとおりです。活動年度は2025年4月～2026年3月です。

1. 会報は会員の情報基盤との認識のもと、月刊による定期発行を継続します。
2. 会報の内容について、読者、ご意見相談室、運営委員会等のご意見を議論・吟味し、より良い誌面造りに活かします。
3. PDF・ダウンロード版の方が印刷配送版よりメディアとして次の点で優れており、移行を推進します。
とはいえ、PDFは表示装置が必須です。またデジタル環境は非常に変化が激しく、PDFフォーマットがいつまで使用可能かわかりません。たとえば100年後、果たして閲覧が可能か、保証はありません。
 1. 発行手数削減(印刷・丁合い等発行作業が不要)
 2. 省資源(用紙・印刷機不要)
 3. 経費節減(印刷・送料にかかる費用が不要)
 4. バリアフリー(文字拡大、音声読み上げ機能)
 5. 会報既刊号の保存場所が不要(「くまたか」サーバーに一括保存)
 6. フォントや画像、デザイン、カラーなどワード原稿の再現性が高いこと
 7. デジタル・コピーおよび紙への印刷等が容易

23. 販売部\三浦博嗣

販売部 2025 年度（1 月～12 月）の販売実績報告

*ワイルドバードカレンダーは、2024 年度(135 本)より 124 本で 11 本下回った。

*ワイルドバードカレンダーの販売金額(10/2 分)で、事務所・八木山小分(2 本)は支部負担なので、2,600 円分を引いている。

*2025 年度トータル販売利益は、販売部より 51,245 円が筑豊支部会計に入金となる。(但し、販売利益金額 51,223 円に利息 22 円プラス)。

カレンダー売上利益は、2024 年度とほぼ同じ金額であった。

(金額単位：円)

注文日	商品名	数量	販売単価	仕入単価	販売金額	仕入金額	配送料	郵便振替	差額
3月13日	スターターセット（ニコンモナーグ）	1	91,000	78,364	91,000	78,364	0	417	12,219
6月10日	スターターセット（ニコンプロスタッフ）	1	20,860	19,195	20,860	19,195	880	203	582
10月2日	ワイルドバードカレンダー	80	1,300	970	*101,400	77,600	0		23,800
10月2日	しあわせことりカレンダー	1	1,100	880	1,100	880	0		220
10月9日	ワイルドバードカレンダー	20	1,300	970	26,000	19,400	0		6,600
10月9日	オリジナル刺繍キャップ	1	3,300	2,805	3,300	2,805	0		495
10月24日	ワイルドバードカレンダー	20	1,300	970	26,000	19,400			6,600
10月24日	しあわせことりカレンダー	2	1,100	880	2,200	1,760	0		440
10月24日	卓上カレンダー	1	1,300	1,056	1,300	1,056	0		244
11月30日	ワイルドバードカレンダー	4	1,300	970	5,200	3,880	880	417	23
合計					278,360	224,340	1,760	1037	51,223
		10\2以降の 販売分			166,500	126,781	880	417	38,422

2026 年 1 月 27 日
監査 後藤ようこ

24. 調査研究部\林田達也

2025 年調査研究部活動報告

1. ガン・カモ一斉調査

<調査の概要>調査は久保白ダム（飯塚市）で 2025 年 1 月 6 日、鴨生田池（直方市）と力丸ダム（宮若市）で 1 月 4 日、油木ダム（添田町）で 1 月 12 日に行い、種類と個体数を調査しました。久保白ダムは田中憲二氏、祥子氏、鴨生田池は梶原剛二氏、吉本浩基氏、力丸ダムは有本英一郎氏、油木ダムは林田達也が調査しました。

<結果の概要>本年は上記のダムおよび池で合計 9 種 1,015 羽を確認しました。昨年より 4 種、400 羽ほど少なくなりました。これは、例年実施していた彦山川（金田大橋～宝見橋）での調査ができなかったため、彦山川での調査を除くと昨年とほぼ同数のカモ類を確認することができました。それぞれの調査地点で確認された種と個体数は以下のとおりです。

- ①久保白ダム（5種 766羽）：マガモ、トモエガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ
- ②鴨生田池（7種 142羽）：オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ
- ③力丸ダム（5種 92羽）：オシドリ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ
- ④油木ダム（3種 15羽）：オシドリ、カルガモ、ホシハジロ

2. 秋のハチクマの渡り調査

＜調査の概要＞調査は2025年9月12日～10月6日に実施しました。10月に入ってからの調査は10月6日の六ヶ岳の1日だけでした。各調査地点の調査期間は剣岳で13日間、遠賀川水辺館で10日間、六ヶ岳で昨年同様の12日間行い、渡り個体数と通過した

時刻を記録しました。また、ハチクマ以外のタカについても同様に調査しました。

＜結果の概要＞本年はハチクマ2,210羽の渡りを確認しました。ほぼ同時期に、同日数調査した昨年に比べ750羽程度多く、一昨年に比べ850羽程度少ない数でした。渡りのピークは昨年と同じ9月27日で、例年よりも遅くなりました。六ヶ岳ではこの日に1日当たり今季最大の956羽を確認しました。その他、ツミ、ノスリ、チゴハヤブサの渡りを確認しましたが、例年、六ヶ岳で確認されていたアカハラダカの渡りは、昨年に引き続き確認することができませんでした。

3. 第13次県委託調査

令和7年は八木山鳥獣保護区、八屋鳥獣保護区を調査しています。

詳しくは、委託調査担当（真鍋直嗣）が活動報告を行います。（23ページ参照）

2026年度活動計画

1. 第13次福岡県委託調査

引き続き専任担当・真鍋直嗣氏、事務局長広塚忠夫氏を中心に、取りまとめに向けて追加の調査等、会員の協力を得ながら取り組んでいきます。

2. 秋のハチクマの渡り調査

2026年9月に剣岳、六ヶ岳、遠賀川水辺館等でハチクマを中心にその他タカ類の渡り調査を行います。

3. ガン・カモ一斉調査

2027年1月初旬～中旬に久保白ダム（飯塚市）、鴨生田池（直方市）、力丸ダム（宮若市）、油木ダム（田川郡添田町）、彦山川（福智町）で調査を行います。

25. 保護部\木村直喜

2025年保護部活動報告

① アカショウビンの営巣地周辺のカメラマンへの対処

アカショウビンの営巣時期に営巣場所に極めて近い場所でカメラマンが20名以上並んで撮影しようとしていた。鳥獣保護管理委員の巡視の際、2回に渡り注意をした。1回目は車内から注意したがほとんど反応がなかった。2回目の注意の際、車から降りて、これほど大勢で巣の周りに集まると営巣放棄の可能性が高く、以後飛来しなくなる可能性もあることを訴えた。納得し、機材を片付ける人も少なくなかったと思う。

園田正齊さんが作ってくださったカメラマンへのマナー看板が設置された。

② 個人的にされた保護に関する質問への対応

下に落ちているヒナを見たがどうしたらよいか。カラスを追い払うにはどうしたらよいか、などの個人的に質問されたことが数件あり。わかる範囲で回答。

2026年保護部活動案

- ① 鳥獣保護管理委員の巡視のとき、アカショウビンの営巣地周辺の状況に注意し、積極的に声かけを行う。
- ② 保護に関する質問とその回答をまとめて、次回総会のとき提示できるようにしておく。
- ③ アカショウビンに限らず、福岡県レッドデータブックに記載された絶滅危惧種に関しては、生息状況をできるだけ把握して保護に努める。

26. 写真部 \ (休部中)

27. 植物部 \ 三浦博嗣

2026年度自然観察会

月	日	曜日	集合時刻	回数 例会場所	集合場所	担当	副担当	観察テーマ	弁 当	2025年度	
										参加 数	実施日 (月-日)
4	9	木	09:00	193回 香春岳	香春町役場	広塚忠夫	三浦博嗣	チョウジガマズミ・ フデリンドウ他	○	10	04-17
	16	木	09:00	194回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦美代子	木下伸子	オキナグサ・ホタル カズラ他	○	10	04-25
5	7	木	08:00	195回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦博嗣	三浦美代子	キンラン・シュンラン 他	○	8	05-15
	14	木	08:30	196回 英彦山	豊前坊駐車場	広塚忠夫	牧野均	サバノオ・ラショウ モンカズラ他	○	(2026 新規)	
6	18	木	08:00	197回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦博嗣	三浦美代子	ノハナショウブ・ス ズサイコ他	○	中止	06-13
	26	金	08:30	198回 蟹ヶ迫池	福智町役場駐車 場	広塚忠夫	牧野均	トンボ観察	×	7	06-06
7	2	木	08:00	199回 千石峡	花の水辺公園駐 車場	牧野均	広塚忠夫	新緑の樹木各種、 タシロラン	×	9	07-03
	16	木	07:30	200回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦博嗣	三浦美代子	ヒオウギ・アキノタ ムラソウ他	○	雨天 中止	07-17
8	21	金	07:30	201回 長寿の里 公園	平成筑豊鉄道犀 川駅駐車場	広塚忠夫	牧野均	ベニトンボ他	×	5	08-22
9	10	木	08:00	202回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦美代子	木下伸子	ハギ各種、野菊各 種	○	雨天 中止	09-18
10	29	木	08:30	203回 平尾台	平尾台自然観察 センター駐車場	三浦博嗣	三浦美代子	ウメバチソウ・リン ドウ・センブリ	○	15	10-30
11	12	木	09:00	204回 経読林道	豊前坊駐車場	真鍋直嗣	三浦博嗣	メグスリノキ、カエ デ科各種	○	8	11-13

2026年度の主旨

1. 2025年度は天候不順(雨天や酷暑)で数度中止(5月と7月の経読林道、8月の平尾台)となり、実施された観察会も8月以降参加者が少なかった。
2. 最近の傾向として、植物の開花時期が少しずつ遅れる傾向にあり、各月の開催日の予定も難しくなりました。
3. 唯一の「昆虫」主体の観察会も、従来の担当者から変更し、今後も継続して実施する。
4. 今年度から、6月に実施していました「経読林道」から、5月の「英彦山豊前坊」近辺の植物観察に変更いたしました。
6月19日の「蟹ヶ迫池自然観察会」と8月21日の「長寿の里自然観察会」は、昨年までの担当古城氏から広塚忠夫、牧野均両氏に変更。

- 5.今年度から、新たに4月・9月の「平尾台自然観察会」では、副担当を木下伸子さんにお願いしました。
- 6.今年度から上記例会以外に、平尾台以外の他場所での観察会の要望もあり、「4/末若杉山」「4/末の男池(大分)」「5/中の由布岳山麓(大分)」「7/初・中の鱒淵ダム周辺」「8/中の天山・奥作礼山(佐賀県)」を、個人主催として計画します。

28. 情報部\有働孝士

情報部 2025 年度総括

情報部は本会公式ホームページ（以下ウェブサイト）「くまたか」<http://yacho.org/>の維持管理を主な活動内容にしています。総括年度は 2025 年 1 月～12 月です。

2025 年度の「くまたか」は、特にアクシデントもなく、順調に推移しました。

「くまたか\What's New\新着」件数の推移

「くまたか」では、ページの新設やアップロード等変更があるたび *What's New* (ワッツニュー) <http://yacho.org/#whats> というコラムにタイトル・執筆者名およびそのリンクを記し、ユーザーにお知らせしています。「くまたか」はこのコラムを見ていればおおむね変化や動向をつかむことができます。会員による新しいご投稿の件数は、「くまたか」の活性度を示す指標とみることができ、これに「新着」タグをつけて *What's New* で公開しています。

2025 年は 729 件でした。2024 年は 621 件なので、108 件の増加が見られます。ユーザーによる新しい利用法（毎日の散歩や探鳥での観察を報告）が定着したためと思われる。中には非常に貴重な記録が含まれており、今後もこうした利用法を支援・推進していきたいと思えます。

yacho.org の現況

「くまたか」<http://yacho.org/>は、インターネット接続およびアップロード・データを収容するためレンタル・サーバー Xserver（エックスサーバー） およびドメイン管理は VALUE DOMAIN（ヴァリュー・ドメイン）の二社とそれぞれ契約しています。以下は 2026 年 1 月 9 日現在の状況です。

Xserver (<https://www.xserver.ne.jp/>)

レンタルサーバー契約期限：2026-08-31（1年自動更新、担当名義のクレジット立替払い） 利用プラン：スタンダード（最大 300GB）	ディスク使用量\空き容量：182GB\118GB 総ファイル数：383,817 契約料金：13,200 円/年
--------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

VALUE DOMAIN (<https://www.valuedomain.com/>)

ドメイン名：yacho.org 有効期限：2026-06-09	契約料金：3135 円/年
------------------------------------	---------------

※ドメインは、世界のインターネットにおける氏名に相当する文字列で、「くまたか」のドメイン名は、yacho.org。短いが世界中で yacho.org といえば唯一「くまたか」を指しており、他にはない。ドメイン管理は有料。

役員用メールアドレス

役員・各専門部部長のメールアドレスについては、個人用の実アドレスを会報や「くまたか」に公開するのはセキュリティ上好ましくありません。そこで「くまたか」のメールサーバーを利用して、別名でメールアドレスを発行し実アドレスを隠蔽します。担当が変わった場合は、サーバー内で旧担当から新担当に転送先を変更しますが、その際、担当に何らかの操作を求めることはありません。

メールアドレス新規発行の権限は情報部に一任されていますので、今後も必要に応じ発行していきます。役員で実務上必要とされる方は、情報部 info@yacho.org までご請求ください。

※「くまたか」のメールサーバーに関連付けられる個人アドレスは、着信専用ですので実アドレスに何らかの影響を与えることはなく、またユーザーが何かする必要はありません。以下のアドレスはすでに発行済みのものです。

支部長（梶原剛二） boss@yacho.org	事務局長（広塚忠夫）
--------------------------------------------------------------	------------

jimukyoku@yacho.org
普及部（園田正斉）fukyu@yacho.org
植物部（三浦博嗣）hana@yacho.org
販売部（三浦博嗣）hanbai@yacho.org

俳句部（真鍋直嗣）haiku@yacho.org
調査研究部（林田達也）chosa@yacho.org
情報部 | 編集部（有働孝士）
info@yacho.org

情報部 2026 年度活動方針案

2026 年度も本会のデジタル・リソースを活用し、本会活動の広報、会員投稿の掲載、記録の保存等に役立てたいと考えます。なお、活動年度は 2026 年 4 月～2027 年 3 月です。

社会のデジタル情報環境は、これまでのインターネット時代から一段上の LLM（大規模言語モデル）と言われる生成 AI の時代にステップアップしており、今もさらに進化中です。観察から情報を生成する私たち野鳥の会にとってもその影響は大きく、識別のアシスタントとして、野外における活動とその後の情報処理など広範なサポート環境が目前です。

会員の高齢化による活動の鈍化が憂慮されますが、体は動かなくても野鳥観察が可能な環境は生成 AI や既存の情報ネットワークの充実により、さらに領域を広げてゆくものと思います（財団本部ではすでにウェビナー*やオンライン探鳥会*を実践中）。せめて役員だけでも、断片的な耳学問でない系統的な情報技術のリテラシーや可能性を学ぶ機会が必要となっています。デジタル・リソースの活用については、財団本部の指導・設備新設等による支部への導入が望まれます。

*ウェビナー：ウェブ（インターネット）上で行うセミナー（講演会）。

*オンライン探鳥会：Zoom や YouTube などを利用し、フィールドの現場から探鳥の実況中継を行う。

29. 俳句部 \ 真鍋直嗣

俳句部令和 7（2025）年の活動報告

俳句部部长 真鍋直嗣（俳号:真鍋植子）

創部 4 年目の俳句部の活動報告を致します。最初に述べておきますが、この俳句部は結社の様なものではなく全支部会員に開かれた「窓」の様なもの。多くの方々に自然に向き合ったときの感動を 17 音（五、七、五）に綴って俳句を詠んでいただき（カメラ或いはスマートフォンで写真を撮るように）それを投句して頂く窓口が当支部の俳句部であります。多くの方々からの投句を待っています。

- I 令和 7（2025）年の投句者の数
9 名（残念ながら今年は新しい投句者はゼロ）
- II 年間の投句数
661 句（月平均で 55 句）
- III 投句鑑賞欄
前月に投句された俳句の中から久保北風子

- （久保正伸）さんが作成（12 回）
- IV 野鳥展と共催し俳句を展示
9 名が 2 句応募、短冊色紙に揮毫し展示、解説文を添えた
- V 令和 8（2026）年の活動方針
投句者を増やす。



3. 助言者

規約第 15 条、第 16 条により役員会に助言を与える。

31. 顧問 \ 森永光直

2025 年の筑豊支部顧問としての実施結果

2025 年度より顧問に就任致しました。顧問の役割は筑豊支部の事業について、役員会に助言を与える事が出来る事です。

4月より毎月実施されている Web 会議に参加して、運営会議にて検討される事項について参考意見を述べた事です。

2026 年の計画

前年同様に Web 会議に参加して、運営会議にて検討される事項について参考意見を述べる事です。



32. 名誉支部長\松尾節朗

※急病で入院中のため、メッセージはありません。



4. 委員会

規約付則第 2 条により設置された規約第 4 条の事業について、執行部、専門部等を補完する。



41. 野鳥展実行委員会\野村芳宏

野鳥展実行委員会 2025 年度の取り組みと 2026 年度の活動計画案

野鳥展実行委員長 野村芳宏

2026. 2. 15 (日)

1. 2025 年度の取り組み

- (1) 会の発足と経年
 - ・発足 2014 年 2 月に野鳥の会筑豊支部の総会で承認
 - ・2025 年で経年 11 年
- (2) 実行委員
 - ・3 名 飯塚地区 野村芳宏、田川地区 木村直喜、京築地区 田代省二、直鞍地区 欠員
- (3) 野鳥展
 - ①期日 2025 年 8 月 1 日 (金) ~8 月 8 日 (金)
 - ②場所 みやこ町図書館 1 階ギャラリー みやこ町豊津 1122-12
 - ③主催 日本野鳥の会筑豊支部
 - ④テーマ 「筑豊の野鳥たち」
 - ⑤展示内容 写真 30 点、俳句 18 句
 - ⑥記帳者数 記帳者+動画視聴者数 54 名
 - ⑦広報 みやこ町図書館だより
 - ⑧会場費 無料
 - ⑨関連イベント
 - ・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施 (野鳥展の展示作品を掲載)
- (4) 外部団体への協力
 - ・9 月 8 日 (月) ~14 日 (月) に鞍手町中央公民館で開催された「鞍手町野鳥展」に野鳥写真 30 点、個人作品 10 点、ハチクマの写真 10 点を展示。
 - ・10 月 5 日 (土) 飯塚市総合体育館で開催されたサイエンスモールに、野鳥プラパン作りを実施。
 - ・2026 年 1 月 10 日 (土) ~25 日 (日) まで響灘ビオトープで開催される SONIDORI 写真展に支部の活動と写真 2 点を出品予定。
 - ・2026 年 2 月 7 日 (土) に飯塚市役所本庁舎で開催される「エコスタいいづか」に支部の活動を模造紙に記入し掲示の予定。(※衆院選投票会場となるため中止)

2. 2026 年の活動方針

(1) 野鳥展実行委員

※2024年度以降は4地区から各1名、合計4名を選出しているが、2025年からは4地区の枠組みの撤廃。

◎野鳥展実行委員会規約

- (現行) 直鞍・飯塚・田川・京築の各地域から実行委員を1名選出し、互選で実行委員長を決める。
- (改正) 筑豊支部から実行委員を4名選出し、互選で実行委員長を決める。

(2) 野鳥展

- ① 開催地区 直鞍地区
- ② 会場 若宮コミュニティーセンター（ハートフル）（予定）
- ③ 期日 8月1日から1週間程度（予定）
- ④ 写真展のテーマ 「筑豊の野鳥たち」
- ⑤ 展示内容 写真30点前後、俳句数点
- ⑥ 展示品の応募 6月中旬
- ⑦ 会場費 若宮コミュニティーセンターならば無料（未定）
- ⑧ 関連イベント 筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施（野鳥展の展示作品を掲載）
- ⑨ 主催 日本野鳥の会筑豊支部

(3) 外部団体への協力

- ・サイエンスモール出展予定（10月）
- ・エコスタいいづか出展予定（2026年2月）

野鳥展実行委員会規約

1.目的 毎年各地域で開催する野鳥展を成功させることを目的とする。	担う。実行委員は、実行委員長の補佐を担う。
2.組織 実行委員4名で構成する。そのうち1名を実行委員長とする。	6.開催期間 原則として年に1回、8月に行う。
3.選出 直鞍・飯塚・田川・京築の各地域から実行委員を4名選出し、互選で実行委員長を決める。	7.開催地域 2014年 飯塚地区 2015年 田川地区 2016年 京築地区 2017年 直鞍地区 2018年以降は、この順番で行う。
4.任期 実行委員及び実行委員長は2年とする。再任は妨げない。	8.発足 2014年1月の総会で承認を得て、発足する。
5.役割 実行委員長は、野鳥展の企画、実施の役割を	9.改正及び破棄 上記の規約を改正及び破棄する場合は、野鳥の会の総会の承認を得る。

42. 識別検討委員会\有働孝士

識別検討委員会は、本会有識者で構成された識別に関する問い合わせに答えるための委員会です。本年度の検討課題は0件でした。問い合わせは、ご意見相談室までで解決されたためです。

通常の識別の問い合わせは、最初に「くまたか」担当がメールで受け付け、ご意見相談室に回され、ここでも判明しないときは、識別検討委員会にあげられ、本会における最終判断が示されます。

検討委員は、梶原剛二、木村直喜、柴田光、渋谷朗、筒井哲史、波多野邦彦、広塚忠夫、岡部海都、有働孝士の9名です。

43. ご意見相談室\梶原剛二

ご意見相談室（規約附則第2条③）は、諮問会議として発足し、通常メーリングリスト（メンバー固

定の相互同報送信メール・システム)により意見交換を行い、運営委員会が開催された場合は、終了後、対面の会議により大きな問題を取り扱うものです。

現在、諮問会議のほかに、「くまたか」関連の問題、識別相談、会報「野鳥だより・筑豊」、一般の方からの質問、原稿訂正等も取り扱うよう拡張されました。今年度も案件に対応して、適任者が回答しています。

ご意見相談室

メンバーは次の9名です。梶原剛二(支部長)、真鍋直嗣(副支部長)、三浦博嗣(副支部長)、広塚忠夫(事務局長)、野村芳宏(事務局次長)、中村嘉一(事務局次長)、園田正斉(普及部部長)、森永光直(顧問)、有働孝士(情報部部長)。メンバーは支部長の指名により会員から参加していただきます。

44. チェックリスト作成委員会\有働孝士

「チェックリスト」は、以前から普通に使われている言葉ですが、これに厳密な意味を与え新しいカテゴリーを提案し、本会規約(付則第2条)に定めのある委員会となるようお願いいたします。

チェックリストとは、一定地域で観察される生物種の総合リストの意味です。チェックリスト採録には条件があり、日付、場所(市区町村および3次メッシュコード)、種名、観察者の4条件は必須とし、なかでも種名では、識別(または同定)可能な証拠を必須としました。ここで証拠とは、録音、動画、写真を指し、これまで認めてきた証言(対象を観察して、その種独自の特徴を詳述した記録)は除外しました。もちろん、ただ種名だけの記述は、証拠としての適性を著しく欠くので、チェックリストの観察記録としては対象外となります。さらに、採録される観察記録は、公表・転載可能でなければなりません。チェックリストの分野は、野鳥に限らず植物および準備中ですがトンボも含めています(ただしトンボは頓挫中で、識者の協力が得られないときは無期限延期となります)。

公表メディアは本会公式ウェブサイト「くまたか」(および会報)です。ウェブサイトは特性により、マルチメディアの収録が可能で、記録の蓄積、一般への公表など、チェックリストの取り扱い等に高い適性があり、まさに好都合なメディアです。

当委員会では今後も、県内の探鳥地を中心に、3次メッシュ単位で地域(フィールド)を定め、新しくチェックリストを「くまたか」に設置し観察記録を収集していきたいと考えます。

2026年度委員会メンバー：広塚忠夫、松富士将和、富永誠、有働孝士(窓口担当)

福岡県チェックリスト <http://yacho.org/a/823>

「福岡県チェックリスト」として、福岡県全域の野鳥の観察記録を収集しています。「くまたか」で、福岡県チェックリストのページにて公表中です。

中島チェックリスト <http://yacho.org/a/846>

中間市下大隈にある遠賀川の中島(なかしま)は、島内27haに161種(2025年現在)もの野鳥が観察され、本会は自然保護区やその他の保護施設への設定を目指し、現在活動中です。「中島チェックリスト」はその支援活動の一つとして提起しました。「くまたか/中島チェックリスト」を展開中です。「中島チェックリスト」ページには、野鳥のほか植物の記録収集を開始しています。

HList(植物リスト) <http://yacho.org/a/529>

福岡県内の植物の記録を収集する目的で開始されたHListには、すでに種以下1736種類も収集され、福岡県内において、ウェブサイトに公表されたデータではおそらく最大のリストではないかと自負するものです。

45. 運営委員会打ち合わせ\広塚忠夫

毎月第4木曜日、事務局主催で運営委員会(規約第22条)を開催していますが、それに先立ち

同じ週の火曜日定例で、事務局の諮問会議として「運営委員会打ち合わせ」を行い、議題の掘り起こし、整理・集約を図っています。結果的に、各月の運営委員会では、議題の本質への理解が深まり、より良い議論を経て結論を共有しやすい良好な結果となっています。

「運営委員会打ち合わせ」会議は、在宅や出先からでも対面会議が可能なウェブ会議システムの無料枠（Google Meeting）を活用しています。ウェブサイト「くまたか」や会報で予定を周知し、申し込み者（支部会員）には、ウェブ会議室の URL をお知らせします。ウェブ会議は、PC、タブレット、スマホなど手持ちのインターネット端末から Google Chrome ほかのウェブブラウザにより容易に参加できます。本会におけるウェブ会議は、2014 年に開始しており、すでに 12 年の歴史を持っています。

「運営委員会打ち合わせ」は便利な半面、本番の運営委員会との境目が曖昧になりやすい欠点にも注意が必要です。このため、毎回、会議のはじめに議決の場では無いことを宣言、強調しています。

今後とも引き続き開催していきたいと思っております。多くの会員のご参加をお待ちしています。

事務局では、「運営委員会打ち合わせ」を本会規約付則第 2 条に登録申請いたします。



5. 受託事業

本会の専門性を頼み、自治体、団体（ ）内から受託した各種の事業。特に「鳥類生息分布調査（福岡県）\真鍋直嗣」は、本会の重要な収益事業ともなっている。



51. 河川環境保全モニター（国土交通省）\梶原剛二

2025 年度は 2026 年遠賀川水辺館で 1 月 27 日 14 時から～「遠賀川流域の野鳥」講演予定。

2026 年度も継続します。



52. 福岡県環境審議会（福岡県）\梶原剛二

福岡県環境審議会委員会 2025 年度

日時：令和 7 年 1 月 21 日(火) 10:00～12:00

場所：福岡市博多区東公園・福岡県庁 7 階 特 6 会議室

(1) 部会決議報告

ア 令和 6 年度水質測定計画の策定について

イ 温泉法に基づく土地の掘削及び動力の装置の許可申請について

(2) その他の報告

ア 福岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況について

イ 福岡県アライグマ防除実行計画について

ウ 令和 6 年度環境部主要事業について

令和 7 年度 第 1 回福岡県環境審議会

日時:令和 7 年 8 月 29 日(金)

13:00～ 場所：吉塚庁舎 7 階 特 6 会議室

(3) 諮問

ア 烏帽子島鳥獣保護区特別保護地区の指定について

イ 環境影響評価法及び海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律の改正に伴う福岡県環境影響評価条例の改正について

(4) 部会決議報告

ア 令和 7 年度水質測定計画の策定について

- イ 福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例に規定する排水基準の改正について
 - ウ 温泉法に基づく土地の掘削及び動力の装置の許可申請について
- (5) その他の報告
- ア 福岡県地球温暖化対策実行計画の進捗状況について
 - イ 令和6年度重点事業(大気汚染予測情報発信・騒音振動 DX)について
 - ウ 福岡県レッドデータブック 2024 について
 - エ 令和7年度環境部主要事業について
- 2026 年度も継続します。

53. 福岡県鳥獣保護管理委員（福岡県） \ 木村直喜

2026 年福岡県鳥獣保護管理員活動案

- ①年に 40 回以下の担当箇所の巡視を行い、毎月、巡視報告書を作成し、提出する。
- ②1 月 12 日(月)の前後でガンカモ調査を実施する。
- ③撮れた野生生物の写真を巡視報告書に添えて提出する。
- ④主に、福岡県レッドデータブックに掲載されている種の繁殖に関わることには特に注意して巡視を行い、必要であれば、声かけをする。

54. 鳥類生息分布調査（福岡県） \ 真鍋直嗣

県委託第 13 次調査、令和 7（2025）年の活動報告

調査研究部（県委託調査担当） 真鍋直嗣

福岡県から委託された第 13 次指定鳥獣保護区鳥類の生息状況調査の活動報告です。この事業では福岡県より委託された調査で県内の 4 支部が其々の地域で地元の指定鳥獣保護区で生息調査を行っています。

令和 7 年度の筑豊支部が行う調査鳥獣保護区は 2 箇所（八木山鳥獣保護区:飯塚市、八屋鳥獣保護区:豊前市,吉富町）です。既に其々で春・秋の渡り期、繁殖期の 2 回、冬期の 1 回目を終えています、1 月中旬に冬期 2 回目の調査を終える予定です。また、同時進行でこの 2 保護区に関する文献（鳥類記録）を集め編集をしています。ただし、その計 12 回の調査、文献編集を終えてもまだ作業が残っています。

第 13 次調査（5 年間）では年間の調査のまとめを当筑豊支部が担当し、各支部への連絡や各支部から提出された調査表をチェック、それを印刷所の助けを借りて報告書に纏め、印刷という作業です。それを 3 月上旬までに終わらせ、福岡県へ 3 月半ばには提出せねばなりません。今年で 4 年目、少し余裕は出来てきましたが、3 月末で県の承認をいただくまでは気を引き締め作業を行っていきます。

55. 福岡県環境保全指導員（福岡県） \ 広塚忠夫

福岡県環境保全指導員の活動報告

報告：広塚忠夫 2026-01-09

本会筑豊支部から福岡県環境保全指導員に下田信廣、広塚忠夫の 2 名が派遣されていますので、2025 の業務報告を致します。

1, 環境保全指導員の業務

- (1) 高山性植物、岩石等を採取し、木竹をき損し、または保護鳥獣を殺傷若しくは捕獲する等、自然保護の精神に反する行為を行わないよう指導すること。
- (2) 案内板、指導票、山小屋等公共施設をき損しないよう指導すること。

- (3) 環境の維持と美化に留意し、特に紙くず、空きかん、空きびん、汚物等の処理を適切に行うよう指導すること。
- (4) 野外における火の使用及び喫煙等に関し、火災予防上適正な措置をとるよう指導すること。
- (5) 登山等の利用につき、それぞれ適切な指導、助言を行うこと。
- (6) 自然公園及び自然環境保全地域において、指導に従わず、違法行為を止めない場合には、県自然環境課に連絡すること。
- (7) 工場、事務所等からの排水、ばい煙の排出、廃棄物等の投棄等について異常を認めるときは、すみやかに公害担当機関に連絡すること。

2, 2025 の業務報告

(注) 業務報告は 2025-01-09 現在で作成しているもので、2026 年 1 月から 3 月は業務実施後に追加記載して県報告とする。

環境保全指導員業務報告書

福岡県知事 殿

住所 田川市奈良 207-3

氏名 広塚忠夫

業務に当たった年月日	業務に当たった公園名及び地区	指導事項又は通知事項	備考
2025-12-19	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園：深倉林道、深倉園地から草木ヶ峠	深倉林道の岩壁の崩落現場は通行止めになっていましたが、本日現場に行くとロープも看板も撤去されていました。 また、草木ヶ峠までは、ブルドーザーで落石を押し出して整備され歩き易くなっていましたので、観察会は実施できる状態に戻っていました。	
2025-05-26	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園：豊前坊から野峠	豊前坊から鷹ノ巣山トンネル経由の野峠までの国道 500 線では、アカショウビン撮影狙いで約 15 人のカメラマンがカメラを構えていましたので、営巣準備又は営巣場所に大勢で近づくと繁殖放棄になります。と注意しました。	

* 出来るだけ詳しく記入してください。



56. 緑の少年団探鳥会指導員（飯塚市） \ 木村直喜

2025 年緑の少年団活動報告

緑の少年団と言っても飯塚市立八木山小学校だけとなっているが、年に 2 回、探鳥指導を行っている。野村芳宏、佐藤久恵、柴田光、木村直喜の 4 名が担当している。

① 2025 年 1 月 10 日(金)実施予定だったが、雪のため休校となる。延期。

1 月 29 日(水)に実施。野村芳宏、柴田光、木村直喜

カワウ、トビ、ノスリ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ

1月8日(水)に下見を実施。野村芳宏、木村直喜

② 2025年5月2日(金) 野村芳宏、佐藤久恵、木村直喜

アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、トビ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、センダイムシクイ、メジロ、キセキレイ、セグロセキレイ、キビタキ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、ガビチョウ

4月30日(水)下見を実施。佐藤久恵、木村直喜

2026年緑の少年団活動案

八木山小学校で年に2回の探鳥指導を行う。

野村芳宏、佐藤久恵、柴田光、木村直喜の4名のうち3名が観察会で指導を行う。

① 2026年1月16日(金) 佐藤久恵、柴田光、木村直喜の3名が指導予定。

② 2026年4月下旬か5月上旬に予定。

 57. モニタリングサイト 1000 (財団本部) \ 広塚忠夫

モニタリングサイト 1000 (財団本部委託)

広塚忠夫

モニタリングサイト 1000 (環境省) の概要は、

- ・我が国を代表する様々な生態系の変化状況を把握 (モニタリング) し、生物多様性保全施策への活用に資することを目的とした調査です。
- ・全国約 1,000 か所の調査地 (モニタリングサイト) において、平成 15 年度から長期継続的に実施しています。
- ・モニタリングサイト 1000 の調査結果は、「生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021 (環境省、2021 年)」、気候変動影響評価報告書 (環境省 2020 年) 等に活用されています。

本調査は、(公財) 日本野鳥の会自然保護室の依頼で、筑豊支部 (広塚忠夫) が受けて英彦山調査を行いました。

昨年は、英彦山の豊前坊から北岳までの 5 ポイントを、各 10 分間の定点調査を往復で行いましたが、英彦山調査は 5 年周期で行われるので 2025 年調査はなく 2029 年調査が予定されています。2029 年調査は調査研究部：吉本浩基氏が実施予定です。



6. 団体加盟

目的および活動に賛同する外部の特定団体に対し、本会は団体として加盟し、活動を支援している。

 61. 公益財団法人日本野鳥の会 \ 広塚忠夫

1986 年 12 月 15 日、財団法人日本野鳥の会理事会より (財) 日本野鳥の会 筑豊支部として団体加盟を承認 (会報 v.106-p.18) され、1987 年 2 月 22 日筑豊支部設立総会 (会報 v.109-p.3) により、筑豊支部となりました。ただし、後に筑豊支部は財団法人ではないことが確認され、「日本野鳥の会筑豊支部」と改称されました。

(公財) 日本野鳥の会は、連携団体による全国総会を毎年開催しており、本会も積極的に参加しています。2025 年連携団体総会は、リモート総会でしたが、事務局長 (広塚忠夫) が参加し、総会報告は当会サイト「くまたか」および会報に掲載しています。

筑豊支部は、2026 年度も団体加盟を継続することとします。



62. 全国野鳥密猟対策連絡会\広塚忠夫

広塚忠夫

- ・公益財団日本野鳥の会は「野の鳥は野に」を創立以来の理念として掲げ、野鳥の密猟、違法な飼養・販売の根絶、野鳥輸入の禁止のための活動を行っており、
- ・1969年日本野鳥の会「カスミ網対策運動本部」設置
- ・1992年全国野鳥密猟対策連絡会」発足（上記からスピニアウト）
- ・2007年輸入鳥にも足輪の装着が義務付けられ、愛玩飼養はメジロ1世帯1羽に制限される。
- ・福岡県は、2011年度まで愛玩飼養を目的とした野鳥の捕獲をメジロのみ1世帯1羽に限り許可していましたが、密猟や乱獲を助長するおそれがあることなどから、2012年愛玩目的の捕獲は許可していません。
- ・日本野鳥の会筑豊支部は、全国野鳥密猟対策連絡会に団体加盟し、以下の密猟対策や違法飼養摘発等の実績がある。
 - ① 英彦山のオオルリ密猟を発見し対応
 - ② 田川市内でメジロの大量の違法飼養の通報があり、警察・県・鳥獣保護管理委員と共に摘発
 - ③ 大法山（旧山田市）でオオルリ密猟を現認し警察に通報
 - ④ 小鳥販売店の実態調査を実施
- ・筑豊支部は、2026年度も団体加盟を継続することとします。



63. 日本野鳥の会九州・沖縄ブロック運営協議会\三浦博嗣 「九州沖縄ブロック運営協議会」の活動報告

「九州沖縄ブロック運営協議会」担当三浦博嗣

1. 2025年度2月1日(土) 定例「九州沖縄ブロック運営協議会」

久留米市民活動サポートセンター「みんくる」にて実施

対面とリモート(福岡支部・宮崎県支部・西表支部)で実施。

- ①各支部からの前年の活動報告
- ②事務局より会計報告
- ③2025年度のブロック大会開催について

2019年以降コロナ禍等で未開催の「九州沖縄ブロック大会」を2025年度開催については、2024年度に決定された「佐賀県支部」主催にて実施。(「九州・沖縄ブロック大会イン佐賀」は5月10日(土)の計画を発表。)

また、2026年度については、「大分県支部」にて予定

2. 2025年5月10日(土)12:00~13:00

(佐賀市・佐賀大和温泉ホテル アマンディ)

- ①2024年度決算報告と2025年度の予算について
(支部負担金・協議会旅費等の意見交換を行い、支部負担金は現行通り、協議会旅費は、JR料金改定に伴い、見直しを実施。)
- ②2025年度「九州・沖縄ブロック大会」について
佐賀県支部より、「九州・沖縄ブロック大会」の詳細計画の発表。
- ③2026年度「九州・沖縄ブロック大会」について
大分県支部より「計画案」を発表。5月16~17日大分県九重町にて実施。
*「九州・沖縄ブロック大会」は、2019年度まで予定通りに実施されていましたが、2020年度実施予定であった「福岡支部」を2026年度に実施すべき開催要望する。

64. 遠賀川流域住民の会 \ 梶原剛二

世話人及び情報収集委員報告 梶原剛二

飯塚市防災センター、14時～

3月14日(金)、令和6年度活動報告、7年度活動計画(案)情報交換

5月23日(金)、NPO 法人遠賀川流域住民の会、通常総会

8月27日(水)、6年度活動計画

2026年度も継続します。

65. 中島自然再生協議会 \ 梶原剛二

中島自然再生協議会（別名：タブリン企画会議、会長・長野熟）は、遠賀川流域のまちづくりや自然保護関連の20団体（個人1名）によって運営される協議体です。本会は目的と活動に賛同し、団体加盟しています。

2025年の活動

企画会議毎月第2水曜日18時～中島清掃毎月第4金曜日9時～

3月9日(日)中島火入れ

4月28日中島清掃金曜日9時～清掃終了後火入れカ所の外来種駆除

6月27日中島清掃金曜日9時～分別作業

10月11日(土)ナイトリバー13時～20時

2026年度も継続します。

2026年度（「令和8年度 事業計画（案） \ 事業目的」）

1. 清掃活動による流域一帯の浄化
2. 防災・減災は行政と連携して取り組む
3. 会員の育成と流域住民や子ども達への環境保全意識の啓発
4. 流域の水質や生物調査を行い、流域の汚濁状況や生物分布の把握、汚濁の原因やその対策の提言
5. 流域の歴史や文化を掘り起こし、それを地域住民と共有することで、流域が一体となった新たな環境文化づくり、まちづくりの提案
6. 川づくり・まちづくりを行政機関と協働で推進する

加盟団体

- | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・遠賀川源流の森づくり推進協議会・遠賀川源流サケの会・遠賀川水辺の楽校周辺の環境を守る会・I LOVE 遠賀川 in 嘉穂実行委員会・田川ふるさと川づくり交流会・金辺川を楽しむ会 | <ul style="list-style-type: none">・さくらクラブ・なつき河童団・I LOVE 遠賀川実行委員会・遠賀川いかだフェスタ実効委員会・NPO 法人小竹に住みたいまちづくりの会・原田自治区犬鳴会・宿場木屋瀬街づくりの会 | <ul style="list-style-type: none">・笹尾川水辺の楽校運営協議会・響みどりの会・まちづくりの会・日本野鳥の会筑豊支部・香月・黒川ほたるを守る会・ふるさとまちづくりの会・私たちの未来環境プロジェクト・（個人） |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



7. 支援事業

講師派遣や活動の提供により、外部団体を支援している。



71. 野鳥観察（遠賀川水辺館） \ 梶原剛二

遠賀川水辺館毎週金曜日 10 時～16 時

6 月 17 日、糸田小学校 2 年生 62 名+4

7 月 3 日、三浦グループ 7 名

7 月 30 日鞍手竜徳高校インターンシップ 7 名

10 月 2 日中川グループ 6 名

10 月 9 日ノラの会 15 名

10 月 19 日バードウォッチング北九州上下水道浄水課 35 名+4

11 月 19 日浄福寺幼稚園年中さん 19 名+3 名

11 月 21 日、直方北小学校 2 年生 67 名+4

11 月 29 日、遠賀川流域子どもの自然環境教育プロジェクト 45 名

2026 年度も継続します。



72. めだかの学校すずめ教室（遠賀川水辺館） \ 梶原剛二

遠賀川水辺館毎月第 4 土曜日 10 時～12 時

毎回参加者(小、中、筑豊支部会員)です。バードウォッチング、野鳥の絵を描くなどが基本的活動です。

4 月 26 日 4 名、6 月 28 日 5 名、7 月 26 日 4 名、8 月 23 日 2 名、9 月 27 日 2 名、11 月 22 日 4 名、12 月 27 日 3 名

2026 年度も継続します。

12 月 13 日、リバーチャレンジスクール「冬の野鳥を見つけよう」、ときわ公園・きらら浜、小学生、大学生、サポーター他 28 名

11 月 15 日～16 日第 24 回「川」のワークショップin遠賀川にて「コウノトリ」「遠賀川流域 200 年ぶりのマナヅル発表」



73. 筑豊博物研究会 \ 木村直喜

2025 年筑豊博物研究会活動報告

日本野鳥の会筑豊支部の創始者でもある故・祝原道衛先生がつくられた筑豊博物研究会に所属し、日本野鳥の会筑豊支部との橋渡しを行っている。会ができて 70 年になる伝統ある会である。現在、中村嘉一氏と木村直喜が会員となっている。

①会誌「筑豊博物」を年に 1 回発行。その中に毎号、年間の通常の探鳥会で観察された全種を掲載した日本野鳥の会探鳥会報告(木村が作成)。松尾節朗先生の野鳥抄(俳句)が掲載されている。

②年 4 回の自然観察会の実施。みどりの日自然観察会(4 月)、全国一斉自然観察会(6 月)、夏の自然観察会(8 月)、秋の自然観察会(10 月)への野鳥講師としての参加。観察会への参加は飯塚市図書館への申し込みが必要で、定員に達すると締め切りとなる。コロナ後は、毎回定員に達する人気の観察会となっている。

③70 周年記念誌の執筆と協力。

詳しい活動内容は、1 月に発行される会誌「筑豊博物 70 号」をご購入いただき、ご覧いただきたい。また、記念誌のご購入もぜひお願いしたい。

2026 年筑豊博物研究会活動案

① 4 回の観察会に野鳥講師としての参加。

- ② 2026 年日本野鳥の会筑豊支部探鳥会報告の作成。
- ③ 記念誌と会誌「筑豊博物」の販売。
- ④ 会員募集。30 代の若手が数人入って、活気が出ている。

74. いいつか環境会議（休止中） \ 後藤ようこ

【参考】

2026 年度定期総会会場ご案内

日時：2026 年 2 月 15（日）13 時

会場：飯塚市穂波交流センター 2F 第 1 研修室（福岡県飯塚市秋松 408）

担当：広塚忠夫事務局長 090-4771-3576 jimukyoku@yacho.org

交通：**ナビ地図** <https://is.gd/EHtpfT> マップコード 55 741 013*05（駐車無料）◆JR 筑豊本線・飯塚駅西口（玄関）から西へ 160m、「飯塚駅前」交差点右折後すぐ道路東（右）側に**西鉄バス停**「飯塚駅通」で 27 番桂川・大隈方面行きに乗車約 5 分「穂波農協」下車～**徒歩**でバス停斜め前の T 字路を西（左）に 400m 道なりに進み、黄色いセンターラインのある道路との X 字交差点右折、約 150m で左に会場の飯塚市穂波交流センター。

※「穂波農協」下車後の徒歩道順 <https://is.gd/umgKLn>

本会活動履歴

1971年2月14日	飯塚市柏の森で第1回総会、筑豊野鳥の会発会
1971年2月14日	第1回総会で、初代会長に祝原道衛選出
1971年2月14日	松尾節朗入会（現・名誉支部長、発会時からの唯一の会員）
1971年2月14日	第1回探鳥会（18種、14名）
1975年5月1日	会報「野鳥だより・筑豊」創刊号発行
1976年5月	動植物の生態写真展（第1回野鳥展）
1976年	会報印刷用トナーシャフックス（中古）購入
1977年10月1日	月見会（第1回）
1978年8月20日	室内例会（第1回）
1978年10月15日	筑豊各地でヒヨドリの渡り調査（調査第1回）
1978年	とう写印刷用輪転機購入
1978年5月27日～28日	第1回ヨルヒコ？
1979年	真鍋直嗣入会（副支部長）
1984年3月10日	垂成鳥の集い（第1回？）
1984年9月23日	ハチクマー斉調査（第1回）
1985年4月29日	シギ・チドリ全国一斉調査（第1回）
1986年4月	梶原剛二入会（支部長）
1986年6月28日	会報「野鳥だより・筑豊」1986年7月号（通巻100号）
1986年12月15日	(財)日本野鳥の会理事会は、本会を筑豊支部として団体加盟承認
1987年2月22日	日本野鳥の会筑豊支部設立総会（「筑豊野鳥の会」名称は存続）
1987年5月30日～31日	財団本部主催・バードソン\川筋男（オープンエントリ）
1987年6月14日	添田町英彦山・深倉峡で参加費（100円）初収受
1987年10月	広塚忠夫入会（現・事務局長）
1987年11月1日	「筑豊地方の野鳥分布図 1987」本会発行
1988年1月15日	ガン・カモ・ハクチョウ類全国一斉調査（第1回）
1988年8月14日	安西英明講演会「野鳥あれこれ鳥ってこんなに楽しいんだ」
1989年2月11日	第1回バスツアー「出水のツルに会いに行こう」
1991年8月11日	事務所開き（直方市感田）
1993年9月25日～26日	九州・沖縄ブロック大会\直方市畑・直方いこいの村
1993年10月31日	‘93バードソン募金者数部門「コノハズク夜ヒコ」第1位優勝
1994年10月30日	会報「野鳥だより・筑豊」1994年11月号（通巻200号）
1995年8月23日	「英彦山自然観察シリーズ ひこさんの鳥」発行（西日本新聞社刊）
1996年3月2日	支部事務所開き（飯塚市柏の森 162-3）
1998年8月9日	植物観察会（例会第382回）第1回目
2003年10月26日	会報「野鳥だより・筑豊」2003年11月刊（通巻300号）
2007年3月	「筑豊の野鳥 観察ガイドブック」発行（本会発行）
2009年3月	三浦博嗣入会（副支部長）
2009年4月1日	公式ウェブサイト「くまたか」正式オープン
2010年4月1日	「日本野鳥の会筑豊」に名称変更
2010年5月9日	日本野鳥の会筑豊40周年記念バードソン（CFB1）
2011年5月29日	会報「野鳥だより・筑豊」2011年6月号（通巻400号）
2014年10月12日	SkypeによるWeb会議開始（恐らく全国野鳥の会初）
2015年2月8日	「日本野鳥の会筑豊支部」に名称変更（元に戻した）
2015年2月8日	「くまたか会員」制度開始
2017年1月1日	元日探鳥会（例会第870回）第1回目
2017年5月20日～21日	九州・沖縄ブロック大会\添田町英彦山・英彦山青年の家
2019年8月1日	第100回自然観察会：古処山
2019年9月26日	会報「野鳥だより・筑豊」2019年10月号（通巻500号）
2020年3月8日	第958回例会：英彦山定例探鳥会（コロナ禍により初めて中止）
2021年3月21日	第1000回例会：英彦山定例探鳥会（コロナ禍により中止）
2023年1月10日	1月臨時運営委員会でコロナ禍活動中止は野外探鳥会・観察会を除外
2025年5月21日	立岩支部事務所（飯塚市立岩 1079-26）へ移転

日本野鳥の会筑豊支部 2026年度定期総会議案書

発行日：2026年1月30日

発行者：梶原剛二

発行所：日本野鳥の会筑豊支部（福岡県飯塚市立岩 1079-26） <http://yacho.org/>

作成：編集部

Copyright (C) Chikuhō Wild Bird Society 日本野鳥の会筑豊支部（無断転載禁止）